東北研究室

1．はじめに

東北研究室は、中枢都市・仙台を中心に、地域に根ざし、土地利用、交通、地域振興、環境の各分野を対象とした調査、分析、計画立案、政策・事業評価等の業務を行っています。

地域の大学・経済界・NPO 等と連携し、地域社会を創造するための計画・政策技術の開発に取り組んでいます。

東日本大震災以後、震災復興に向け、災害に強い都市構造・交通施策検討の支援業務にも取り組んでいます。

2．主な研究活動

(1) 人口減少社会・低炭素社会に向けた都市構造、交通政策の調査研究

人口減少社会、低炭素社会に向けて、必要となる交通政策の方向性を見出すことが急務となっています。

東北研究室では、人の交通行動をシミュレーションする政策評価ツールを活用して、都市政策や交通施策が環境に及ぼす影響を分析しつつ、客観的評価を通じて、地域形成を支援する政策立案の調査研究活動に取り組んでいます。

また、災害に強い都市構造・交通施策に向け、震災前後の交通行動・意識の変化を明らかにし、復興支援に関わる調査研究を行っています。

(2) 社会資本が社会・経済に及ぼす影響の調査研究

道路などの交通ネットワークの整備は、社会・経済の様々な面に影響を及ぼします。

東北研究室では、応用一般均衡分析などの科学的アプローチにより、東北地方で計画・構想されている道路ネットワーク整備が、人口、雇用、生産額、所得などに及ぼす影響を定量的に計測し、客観的評価を通じて、限られた財源の中で如何に社会資本整備を適切に行うべきか、研究･提案を行っています。

また、ネットワークの維持・管理も重要なテーマであり、通行止めなどによる影響分析を行うなど、広範な視点から交通ネットワークの調査研究を行っています。

(3) 様々なニーズに対応した交通政策の立案

東北地方には､個性豊かな地域が存在しています。

東北研究室では、地域の個性を活かしつつ、地域ニーズに対応するために、住民・企業の声を反映した協働型まちづくりに取り組んでいます。

3．主な研究テーマ

(1) 人口減少社会・低炭素社会に向けた都市構造、交通政策の調査研究

・総合交通体系調査と都市計画マスタープランの連携に係わる調査研究
・人の交通行動パターンを反映した需要予測モデルの開発
・土地利用交通モデルの開発の情報収集と我が国への適用性に関する調査研究
・地方都市圏のパーソントリップ調査、戦略などの策定調査
・震災後の交通行動･意識変化を踏まえた都市構造･交通施策に関わる調査研究

(2) 社会資本が社会・経済に及ぼす影響の調査研究

・道路ネットワーク整備の経済評価分析に係わる調査研究
・鉄道整備の経済評価分析に係わる調査研究
・道路の通行止めによる影響分析の調査研究

(3) 様々な地域ニーズに対応した交通政策の立案

・市民参加型計画手法による調査
・観光まちづくりに係わる調査
・公共交通利用促進に向けた調査
・都市計画道路などの都市施設に係わる調査